

# ヤマザクラ2011本プロジェクト

## 第3回 ヤマザクラ植樹祭

植樹場所 奥松島縄文村敷地内  
奥松島ウォーキングトレイル公園  
室浜高台移転団地

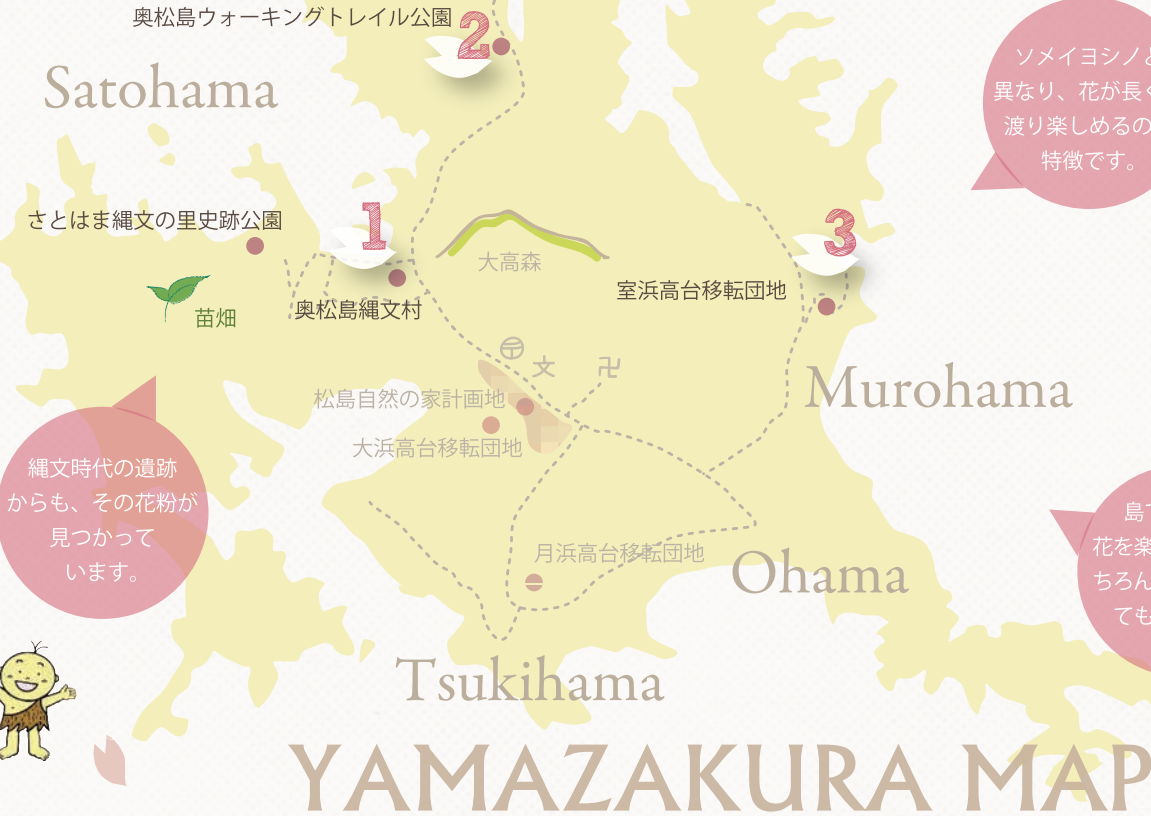
春、宮戸島を彩るヤマザクラ。松島湾周辺は野生のヤマザクラが自生する北限とされ、学術的にも注目されています。

そんな貴重なヤマザクラを植樹することで、島内に本来の植生を取り戻し、復興のシンボルの1つにしようとして、2012年に始まった「ヤマザクラ2011本プロジェクト」。震災を忘れぬよう、「2011本」のヤマザクラ咲く島に向けて、地域の皆さんと地道な歩みが続いています。

あれから5年。今年も桜に復興の思いを込め、3回目の植樹祭を開催しました。

ソメイヨシノと異なり、花が長くに渡り楽しめるのも特徴です。

島では昔から花を楽しむことはもちろん、焚き木としても利用してきました。



縄文時代の遺跡からも、その花粉が見つかっています。



2012

プロジェクト始動！タネを求めて…

宮戸島で「ヤマザクラ」と総称される桜の中には、オオシマザクラ・カスミザクラなども含まれ、遺伝的に少しずつ異なります。まず花が咲く時期に、ヤマザクラがどこに生えているのかを調査。その後、6月にタネを採取しました。

以降プロジェクトにご賛同いただいた皆さんと地元の皆さんとともにタネと若芽の採取を続け、さとはま縄文の里史跡公園内にある畑で苗木を育てています。育成管理など日々のお世話は、島の皆さんが中心。目標に向けて継続的な活動が続けられています。



2012年 植生調査と種採り



2013年 種採りと苗採り

2014

三年目、初の植樹！

2014年3月、震災の翌年から育ててきた3年目の苗を、いよいよ島内に植樹！島の入り口である「奥松島ウォーキングトレイル公園」と、海を臨む「さとはま縄文の里史跡公園」に、36本を植えました。しかし植樹したヤマザクラの中には、根付かずに枯れてしまったものも…。翌2015年も植樹を行い、島に植樹した木は65本に。試行錯誤ながらも、着実にヤマザクラを増やしています。



2014年 第1回植樹祭

2015

▶▶▶ 2016



2016年 畑への苗植え

# 2016.3.13 (sun)

今回は、縄文村の入り口にも 4 本のヤマザクラを植樹することになりました。

また、これまで植樹してきた奥松島ウォーキングトレイルと室浜高台移転団地のヤマザクラの中に、オオシマザクラが混ざっていることが判明 (!)。

その分をヤマザクラに入れ替える、補植を行います。



ヤマザクラとオオシマザクラは、大きくなってみないと、なかなか見分けがつかないんです。

奥松島復興の会  
事務局長  
鈴木三男先生

島内に植樹開始！

## 2 奥松島ウォーキングトレイル



7本を補植 合計31本

## 1 縄文村



新たに4本を植樹

## 3 室浜高台移転団地



17本を補植 合計32本

# また一步、「桜咲く島」への歩みを。

島内への植樹の後は、苗の植え替え作業を行いました。縄文村のプランターで育てていた昨年発芽した苗と、さとはま縄文の里史跡公園の苗畑で育てていた苗をビニールポットに植え替えました。

縄文村の苗は既に 30 cm を超す大きさに育ち、プランターは密生状態に。苗畑の苗も、周りの草の勢いに負けて生育の悪いものや、ウサギによる食害で枯れてしまったものも多くあり、今後はある程度の大きさに育つまで資料館で管理することとなりました。

大きく育つといいな♪



約580本を管理。1年後、再び苗畑に植え替えます。



←公園で目撃されるノウサギ

「宮戸島のヤマザクラは綺麗だけど、それが自分で関わったものだと思うってさう嬉しいね」というお言葉も聞かれました。ぜひ、これからも長い目で活動に携わっていただければと思います。皆さん、ご参加ありがとうございました。

to be continued...